

<下野 3/18>

男女共同参画に積極的

3事業所に「きらり大賞」

宇都宮市

【宇都宮】男女共同参画へ積極的に取り組む事業所



きらり大賞受賞の3事業所代表と佐藤市長（右から2人目）

を表彰する市の本年度「きらり大賞」の表彰式が17日、市役所で開かれ、佐藤栄一市長が受賞した市内3事業所に表彰盾を手渡した。

受賞したのは、針ヶ谷町の建設業「エム・プロダクト」（佐藤義春社長）と戸祭1丁目、同「宇都宮ヤマイチ」（下山幹夫社長）、大通り2丁目の「群馬銀行宇都宮支店」（横田勇起支店長）。エム・プロダクトは、設立時から就学前の子どもに限らず保護者が看護休暇を取

得でき、会社に保健師を配置している。ヤマイチは、技術だけでなく建設簿記など女性事務員が取得する資格も含め試験の費用を負担、手当も支給している。群馬銀行は、月5回の一斉定時退行を全店舗で行っているが、同店は独自にさらに1回追加し月6回実施している。

佐藤市長は「女性が活躍する社会をつくるには企業力が必要。3社は模範となる取り組みを行っている。行政とともに歩んでいきましよう」などと3事業所をたたえた。（亀井勝）